

第 10 回コープさっぽろ農業賞 受賞者一覧

コープさっぽろ農業賞事務局

1 農業賞

	生産者名	種別	審査委員の評価コメント
北海道知事 大賞	ハスカップ ファーム山口農園 厚真町	耕種	長年に渡りハスカップの選抜育種を行い、育種した品種を独占せず町内の農業者に提供することで厚真町を日本一のハスカップの生産の町にしたことに貢献。 有機肥料の使用や自然農法も取り入れている。 6次化の加工品や移動販売車まで行っていることが高く評価されました。
コープさっぽ ろ大賞	坂口農産 富良野市	耕種	家族経営で美味しく安全な野菜づくりのために土づくりに徹的にこだわり、幅広い作物を生産しているのは北海道農業のモデルとなりうるところが高く評価されました。
優秀新規就 農者賞	えづらファーム 遠軽町	耕種	地域の中での堆肥循環での農法や貯蔵技術にこだわったじゃがいも作りに加え、ヒンメリでの地域起こし農家民宿、出面さんの住み込みバイト等人口過疎地域での斬新なアイデアは新規就農者として高く評価されました。
特別賞	石田めん羊牧場 足寄町	酪農	美味しい羊肉を生産するため難しい品種の改良を自ら行い、またヒツジ堂というレストランも直営で展開地域での「あしおこし隊」の取組も高い評価されました。
特別賞	駒谷牧場 様似町	畜産	様似の山中で通年昼夜放牧を行い、自然交配・自然分娩という牛が本来持つ能力を最大活かした飼育であることを可能にした取組が評価されました。
特別賞	クリマリー農夢 旭川市	酪農	小規模ではあるがアニマルウェルフェアと飼料給付を通じて搾乳牛に負荷をかけない取組を実践 チーズ作りのこだわりもある 牛への愛情も強く応援したい生産者として評価されました。
奨励賞	山本農産 大空町	耕種	59歳で慣行の畑作から有機の多品目への転換を行い少量で多品種を栽培するなどして、季節にあった野菜をセット販売する経営面の工夫が見られる。 食育活動も積極的であり評価されました。
奨励賞	十勝うらほろ高橋農 園 浦幌町	耕種	ラズベリーに特化して日本一の耕作面積を実現し加工品の6次化に積極的に取組む姿勢と地域活性化へも積極的に関わっているところが評価されました。

奨励賞	宇野牧場 天塩町	酪農	放牧、自然分娩にこだわり新たに搾乳ロボットの導入等酪農の未来を大きく変える可能性をもった取組は評価に値する。搾乳ロボットの成果はこれからのので以降の取組次第では大賞も期待出来る生産者です。
奨励賞	杉村農園 網走市	養鶏	平飼い養鶏で地元オホーツク産の海の幸、山の幸を素に地元の素性の知れたエサを利用すること、加工品づくりにおいても地元の食材を使うよう務めるなどオホーツクの地と一体となった取組が評価されました。
奨励賞	山田農場 七飯町	酪農畜産	小規模家族経営で地域にあったチーズ作りのため地域で元々あった牧草にこだわり山羊や羊の放牧を行っている。無殺菌乳でのチーズ作りもこだわり高く評価されました。

2 漁業賞

	生産者名	種別	審査委員のコメント
コープさっぽろ大賞	厚岸漁業協同組合 厚岸町	漁業加工	牡蠣という地域資源を活かすなど育てる漁業への取組を長年実施。またブランド化への取組も実施し生産から販売までの取組が北海道の漁協として先進的で高く評価されました。
特別賞	蛭名漁業部 羽幌町	漁業加工	エビかご漁業における漁獲から荷揚げまでの鮮度管理に加え、全道でも例の少ない自社加工場を整備し、さらには直売所での女性雇用での販売までの一連の取組は、他の模範となる先進的な漁業モデルとして高く評価されました。
奨励賞	川口裕次 北見市常呂町	漁業加工	個人の漁業者として自らが企画立案した「魚食系男子プロジェクト」で、魚食普及活動に精力的に取り組んでおり、さらに自ら漁獲したカラフトマスを使い「ピンクサーモンパテ」といった加工品開発にも取り組んでおり評価されました。今後の活躍に期待しています

3 交流賞

	生産者名	審査委員のコメント
札幌市長賞	チームノースドラゴン 北竜町	当地域で生産された米の販売、消費拡大のみならず米という食を通じて子どもたちに食べ物大切さを伝える食育の推進に取り組んでいる。また構成員も生産者に加え、役場、農協、商工会の関係者が関与しており、地域ぐるみで取組を行っているのが高く評価されました。
特別賞	風の村	農園と陶芸工房、ファームレストランといった取組の中で幼稚園

	江別市	児や小学生に農と文化、食の総合的な教育の実践の場として取り組んでいるのが高く評価されました。
特別賞	幌加内高校 幌加内町	そば打ちの取組からスタートしたものを、その後農業だけでなく商業、工業、観光産業を一体に捉えた「幌高商店会」の展開として進め、生徒にとっては六次化産業の実践の機会として貴重なものとなっているところが高く評価されました。
特別賞	岩見沢農業高校 岩見沢市	高校生自らが小学生向けの食育プログラムを作成し実践の中で検証して改善していく仕組みが出来ている この取組が継続的に取り組まれているところが高く評価されました。
奨励賞	ふるさとファーム 札幌市	新規就農4年で農業自体はまだこれからであるが児童養護施設の子供を受け入れるという非常に難しさも伴う交流事業にいち早くチャレンジしたいという心意気は評価されました。
奨励賞	網走川流域農業・漁業連携推進協議会 網走市	地域の利害のからむ難しい課題に地域の関係する農協、漁協が連携して粘り強く取り組んでいることが評価されました。

4 ビジネスモデル賞

	生産者名	審査委員のコメント
優秀賞	高橋牧場 ニセコ町	長い年月をかけて、レンガを積み重ねるように今の一大観光地になり、人を呼べる地域の財産になり雇用を生み出している事業性、成長、後継者である子どもの存在、地域の観光資源としての貢献など高く評価されました。
優秀賞	白糖酪恵舎 白糖町	地元で生産された生乳を用いた乳製品を製造し、乳を地域の食文化として醸成していこうとすることで地域に貢献する取組が高く評価されました。
奨励賞	留萌・麦で地域を チェンジする会 留萌市	地域の課題をクリアするために小麦栽培に着眼し、かつ地域の特産品である食材と組合せによる新しい食文化の創出を目指した取組であり、事業達成に向けて、生産、加工、製造、流通それぞれの立場の人と連携して検討を重ねるとともに、消費者の声にも耳を傾けて取り組んで来たところが評価されました。今後の広がり期待します。
奨励賞	しあわせチーズ工 房 足寄町	石田めん羊牧場やありがとう牧場との連携を通じて地域を巻き込んであらたなブランドを形成する可能性を感じました。今後さらに期待します。
奨励賞	寺坂農園 富良野市	お客様と直接つながる努力を惜しまず、新たなシステムを開発するなど独自の方法を創出ビジネスとして成功しておりされました。地域とのさらなる関わりに今後期待します。

5 北海道農業・漁業貢献賞(第10回記念)

	生産者名	審査委員のコメント
優秀賞	多田農園 中富良野町	受賞以降ワイナリーを開設し、ワインツーリズムの受け入れを行っており、ワインディナーの開催などで都市と農村の交流を図っている。地元農業者へのワイナリー創業の支援も行っている。教育ファームの精度を進化させているところが高く評価されました。
優秀賞	奥尻潜水部会 奥尻町	塩水うこのブランド化に成功した後も、帆立の養殖やつぶ塩辛の商品化等に取り組むことで生産性の向上や六次化に努めている姿があるほか、消費者との交流についても島内のみならず島外での活動に取り組んでいるところが高く評価されました。